

# BANK REPORT 2019

百十四銀行 ミニディスクロージャー誌

第150期 営業のご報告

2018年4月1日～2019年3月31日

114BANK mini Disclosure

## CONTENTS

- 1 ごあいさつ
- 2 経営理念・行動指針・中期経営計画
- 3 百十四銀行のSDGs宣言
- 4 環境 Environment
- 5 社会 Social
- 8 ガバナンス Governance
- 9 業績ハイライト
- 11 経営の健全性について
- 12 株式情報
- 13 財務データ

## 「瀬戸内国際芸術祭2019」開幕!!



4月26日より開幕した「瀬戸内国際芸術祭2019」を今回もグループ全体を挙げて応援しています。港の清掃活動や作品受付ボランティア等を通じて、地域の一大イベントを盛り上げてまいります。



# ごあいさつ

平素より百十四銀行をご利用、お引き立ていただき、まことにありがとうございます。

この度、皆さま方の当行に対するご理解が一層深まりますよう、「2019年3月期ミニディスクロージャー誌」を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、人口減少や少子高齢化など、我々地方銀行を取り巻く環境は一層厳しさを増しております。さらに、テクノロジーの進化により金融機関のビジネスモデルは大きな転換点を迎えております。

このような環境下、当行は中期経営計画「**チャレンジ・バリュー・プラス**」のもと、地域と共に成長する新たなビジネスモデルの確立をめざし、地域社会・お客さまの成長支援、非対面チャネルの強化、及び店舗網の見直しや、ITを活用した業務効率化によるローコスト経営などに取り組んでおります。現中期経営計画の最終年度である2019年度は、環境変化に対応した新たなビジネスモデルの確立に向けて、金融仲介機能の更なる発揮に

グループ一丸となって取り組んでまいり所存です。

今後とも、質の高い金融サービスの提供を通じて企業価値の向上につとめ、環境保全やダイバーシティといった地域社会の持続可能性を高める取り組みを推進してまいります。また、重要な経営課題としてコンプライアンス態勢及びコーポレート・ガバナンス態勢の一層の強化・充実に取り組み、経営の健全性確保を図ってまいります。

皆さまにおかれましては、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

頭取

綾田 裕次郎



## Profile [2019年3月31日現在]

本店所在地	香川県高松市亀井町5番地の1	貸出金	2兆8,328億円	店舗数	124店舗 (本支店103、出張所21)
創業	1878年11月1日	資本金	373億円		海外駐在員事務所 2 (上海・シンガポール)
総資産	4兆8,775億円	発行済株式総数	30,000千株 <sup>※2</sup>		
総預金	4兆569億円(譲渡性預金を含む)	従業員数	2,199人	店舗外ATMコーナー	166カ所

※1：本冊子に掲載されている計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。 ※2：2018年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。

## 経営理念

- 1 お客さま・地域社会との共存共栄をめざします。
- 2 活気ある企業風土の醸成をめざします。
- 3 健全性の確保と企業価値の創造をめざします。

2019年3月、当行の「経営理念」の実現に向け、役職員がどう行動すべきかを示した「百十四銀行行動指針」を新たに制定しました。

## 行動指針

- 対話を密にし、相互の信頼を深めます
- プロフェッショナルとして成長するための努力を惜しみません
- 多様性(ダイバーシティ)を理解し、人権を尊重します
- 環境の負荷軽減に努め、地域の活性化に貢献します
- ステークホルダーの期待を超える行動を実践します

## 中期経営計画

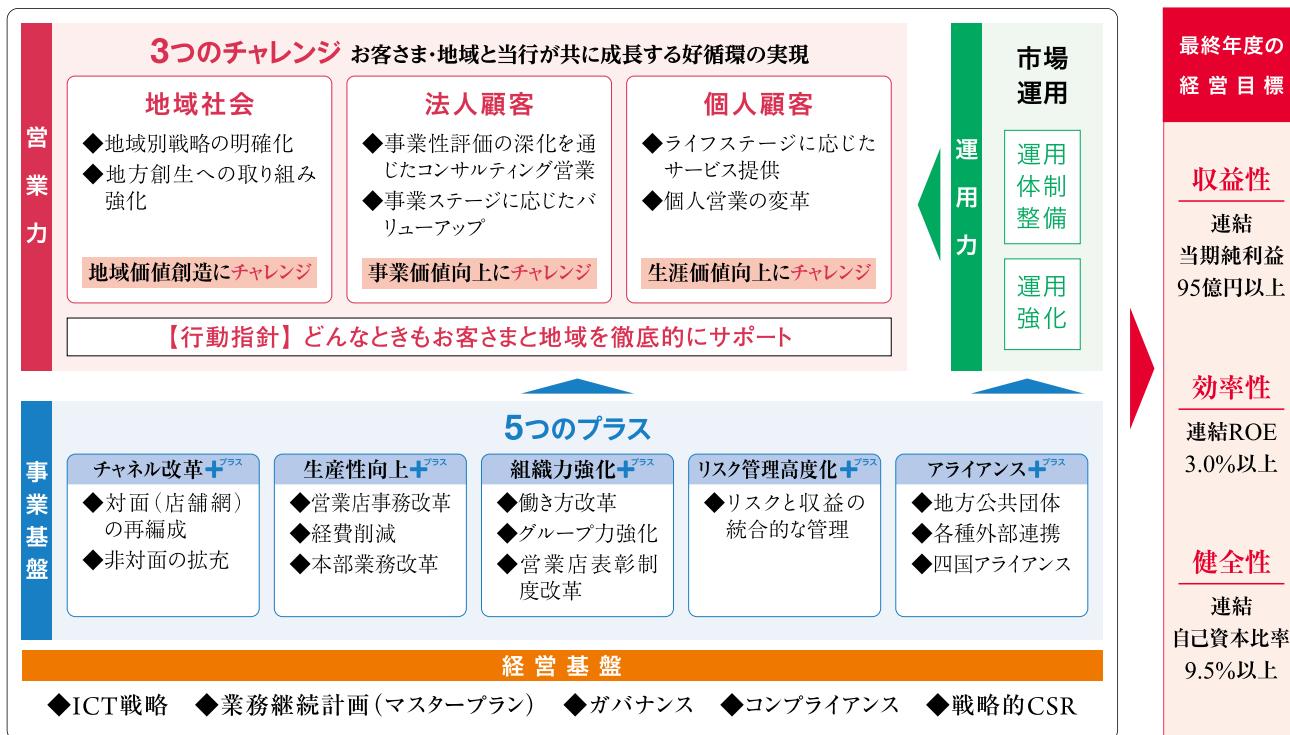
名称・計画期間

(2017年4月～2020年3月)

**チャレンジ・バリュー+** プラス ～金融の枠を越え、新たな価値を共創～

めざすべき姿

金融の垣根を越えて地域の「ありたい」ととことん関わり、地域と一緒に成長する





# 「百十四銀行のSDGs※宣言」

百十四銀行は、経営理念に掲げる「お客さま・地域社会との共存共栄」の実現をめざし、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)を自らの企業行動につなげることで、持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

2019年5月15日 取締役頭取 綾田 裕次郎

〈重点テーマ〉-----

## 地域価値の創造

地域の魅力を発掘し、それを発信することで地域価値を創造します。



## 地域経済の成長・発展

金融の枠を超えてお客さまと地域を徹底サポートすることで、共に成長する好循環を実現します。



## 地域に住む人々の幸せの支援

資産形成のサポートを通じ幸せな生活を支援するとともに、社会貢献を通じ地域活性化に取り組みます。



## 誰もが活躍できる場の創出

多様な考え方を受け入れ、従業員や地域の人々がいきいきと活躍できる場を提供してまいります。



※SDGsとは…

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに国際社会が達成すべき目標です。持続可能な社会を実現するための17の目標、169のターゲットから構成されています。



# 環境 (Environment)



金融商品・サービスの提供、地域の森林保全活動、省エネ店舗等を通じ、環境配慮型社会の実現に取り組んでいます。

## ✓ 環境保全への取り組み

### フォレストマッチング

香川県など「百十四の森」フォレストマッチング協定を締結し、森林保全活動に取り組んでいます。



### 地域の清掃活動に参加

海や河川敷、商店街など各地域で開催される清掃活動に近隣店舗の行員が積極的に参加しています。



### 省エネ店舗

本店ビルは既存の壁面ガラスを新ガラススクリーンで二重に覆う「ダブルスキニング法」により、冷暖房負荷の軽減を図っている環境配慮型ビルです。



### ペーパーレスの推進

紙使用量削減のため、会議資料などを電子化することにより、ペーパーレスを推進しています。



## ✓ 環境にやさしい金融商品づくり



### 環境配慮型私募債

(愛称:百十四オーリーブ債)

第三者認証の取得や環境配慮型経営が確認できる企業に対し、金利を優遇



### 百十四環境サポート融資

(愛称:百十四オーリーブファンド)

お客さまの環境への取り組みを3段階で評価し、貸出金利に反映



### 百十四再生可能エネルギー事業支援融資

(愛称:百十四エネルギーサポート)

再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用し、太陽光発電事業等に参入する事業者の設備資金需要に対応

# 社会 (Social)



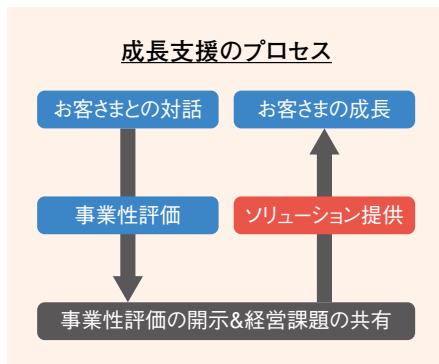
中期経営計画に掲げる“3つのチャレンジ”や地域社会との交流を通じてお客さまや地域の成長を支援しています。また、働き方改革により、やりがいを持って長く働ける職場環境の整備に積極的に取り組んでいます。

## ✓ 事業価値向上

### 事業性評価を通じた成長支援

当行は、「事業性評価<sup>※</sup>」を通じてお客さまの経営課題やニーズに対する適切な解決策をご提案し、お客さまの成長を支援しています。

※事業性評価とは、お客さまとの対話を通じて事業内容を理解し、財務分析や市場調査などの業界分析などを加えて、事業の将来性を適切に評価することです。



情報整理	分析	提案
<ul style="list-style-type: none"> <li>基本情報</li> <li>製品・サービス</li> <li>財務情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務分析</li> <li>外部環境分析</li> <li>内部環境分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価結果へのご説明</li> <li>課題等へのご提案</li> </ul>

Social

### 販路拡大支援

全国規模の商談会を共同開催し、お客さまの販路拡大を支援しています。また、海外の銀行や他業種企業との業務提携を行い、お客さまの海外進出や海外ビジネスを支援しています。



### 事業承継支援

地元中堅・中小企業の後継者問題に対し、当行の持つ豊富なネットワークを活用し、自社株式の承継支援やM&A等、円滑な事業承継のお手伝いをしています。

また、四国アライアンス4行で共同設立したファンド運営会社「四国アライアンスキャピタル株式会社」で運営する「しこく創生ファンド」においても、事業承継を支援するための出資を行っています。



## ☑ 生涯価値向上

### ご利用いただきやすい 店舗づくり

お手伝いできる行員の育成やバリアフリーへの取り組みを通じて、すべてのお客さまに安心・快適にご利用いただける優しい店舗づくりにつとめています。



### ライフプランセミナーの開催

お取引先企業の従業員の方を対象に、ご自身の生活設計(ライフプラン)について考えるきっかけにさせていただくことを目的に開催しています。



### モバイルバンキングのサービス拡充

お客さまの利便性向上のため、お手持ちのスマートフォンでご利用いただけるサービスの拡充に取り組んでいます。

114ダイレクト ●振込振替/照会 ●定期/外貨口座開設 ●住所変更 ●投資信託取引	窓口業務
114スマート通帳 ●無通帳口座 ●残高明細確認	窓口業務
口座開設申込み	窓口業務
ローン申込み	窓口業務
ロボアドバイザー	相談業務
ライフプラン診断	相談業務
保険申込み	窓口業務
家計簿機能 ●資産管理	新サービス

### 通帳レス口座

- ✓ 紙の通帳が不要に!
- ✓ スマートフォン上で手軽に口座の資金管理が可能
- ✓ 取引明細にメモを書いたり取引内容の検索が可能

アプリの設定や口座の追加はこちら

メモや取引内容を検索できます

メモを書くことができます



### 家計簿機能

- ✓ 当行口座だけでなく他行口座や各種ポイントサービスとも連携
- ✓ 取得したデータを住宅費や食費等のカテゴリ毎に自動で仕分け
- ✓ グラフ表示やカレンダー表示で月々の収支を簡単に管理可能

月/年の切替、カレンダー表示など多彩な自動表示



## ✓ 地域価値創造

### 地方創生

#### 観光振興支援

地域の魅力ある資源を活かした観光振興支援を行っています。香川県の女性職員も参加してモニタリングを行い、女性目線での地域資源の発掘や情報発信を行っています。



### 働き方改革

#### 事業所内保育所の設置

女性行員が安心して働くことのできる環境整備として、事業所内保育所を設置しています。



#### 四国アライアンスの取り組み

四国の地銀4行による包括提携「四国アライアンス」では、各行が健全な競争関係を維持しつつ、それぞれの強み・ノウハウを結集して様々な施策に取り組んでいます。



#### CSR私募債(愛称:百十四地域アシスト債)

発行企業者さまからいただく手数料の一部で、教育に関する物品等を購入し発行企業さまが指定する学校や地方公共団体へ寄贈しています。

#### 健康経営優良法人2018 ホワイト500認定

2019年2月、優良な健康経営を実施しているとして経済産業省および日本健康会議より「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定されました。



### 金融教育

#### 職場体験学習の受け入れ

中学生や高校生の職場体験学習を受け入れています。営業店見学やロビーアシスタント体験のほか、ライフイベントやマネープラン設計に関する学習も行っています。



#### 出前授業の実施

高校や大学に講師を派遣し、特別授業を行います。特別講師は、当行役員や支店長など、幅広い役職の職員がつとめています。



# ガバナンス (Governance)

ガバナンス強化は当行の持続的な成長と中長期的な企業価値向上に不可欠との認識のもと、体制整備につとめています。

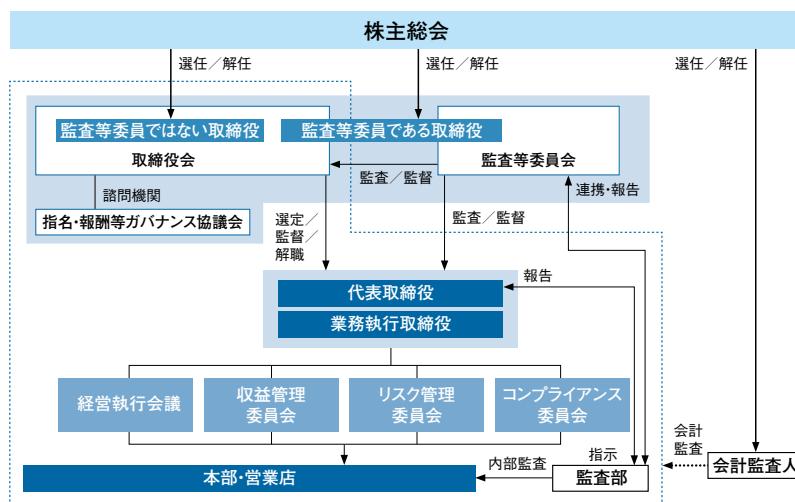
## ☑ ガバナンス強化への取り組み

公正かつ迅速・果敢な意思決定プロセスを有効に機能させるべく、取締役会を中心としたコーポレート・ガバナンス体制を構築しています。

2019年2月には、より一層ガバナンス体制を強化するため、社外取締役過半数以上で構成する取締役会の諮問機関「ガバナンス協議会」の役割や機能を拡充し、「指名・報酬等ガバナンス協議会」と名称変更しました。同協議会は、取締役候補者の指名及び取締役の解任、代表取締役の指名・解職、監査等委員ではない取締役の報酬等、取締役会の実効性評価に関する事項、その他ガバナンス及び経営上の重要な事項に関する審議を行い、取締役会はその答申の内容を尊重することとしています。

また、相談役制度の廃止及び取締役頭取に至るまでの経営層の育成方針制定などにも取り組みました。

### コーポレート・ガバナンス体制



## ☑ コンプライアンス態勢強化への取り組み

2019年4月1日付けでコンプライアンス態勢のさらなる強化を目的に、コンプライアンス全般を一元的に統括管理する最高責任者として「CCO (チーフ・コンプライアンス・オフィサー)」を設置しました。必要に応じて事実の調査を行い、結果を取締役会へ報告するほか、各部の施策や事案対応等にコンプライアンスの観点から問題があると認められる場合は速やかな改善及び対応を指示します。

また、コンプライアンスに係る統括部署として「コンプライアンス統括部」を新設し、コンプライアンス違反の発生防止や発生時の初動態勢強化及び内部通報制度の拡充に取り組んでいます。

# 業績ハイライト

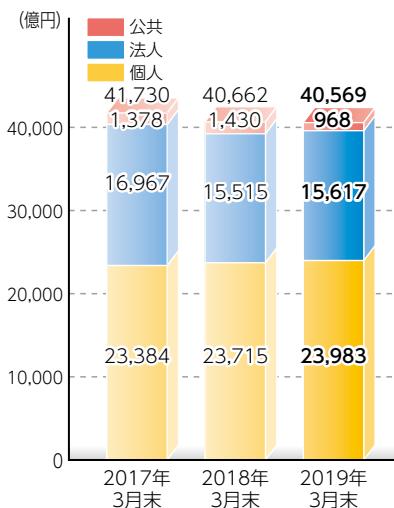
## 総預金・貸出金等の残高推移

### 総預金等

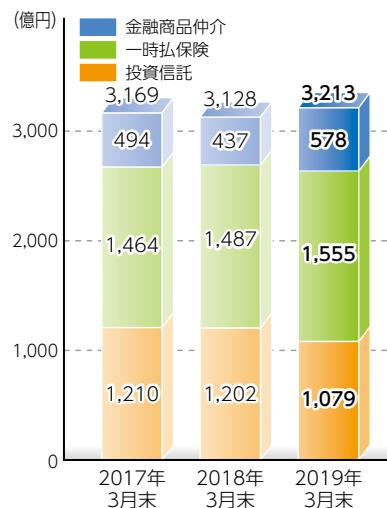
当期末の総預金残高は、個人及び法人預金が増加しましたが、公共預金の減少により、前期末比92億円減少して4兆569億円となりました。

また、預り資産残高は、投資信託は減少しましたが、金融商品仲介及び一時払保険の増加により、前期末比85億円増加し、3,213億円となりました。

総預金 (預金+譲渡性預金)



預り資産

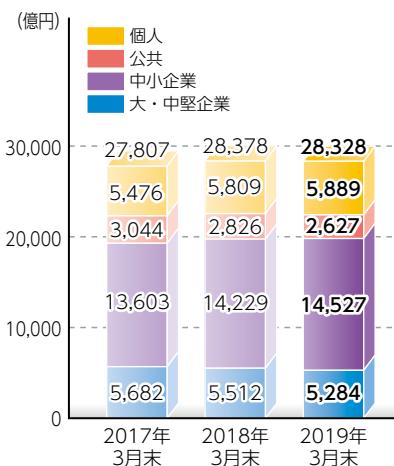


### 貸出金

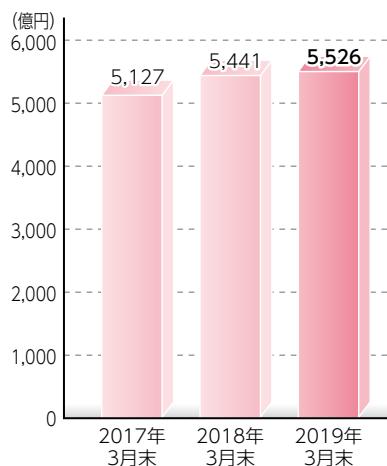
当期末の貸出金残高は、中小企業及び個人向け貸出金が増加しましたが、大・中堅企業及び公共向け貸出金が減少したことにより、前期末比50億円減少して2兆8,328億円となりました。

また、住宅ローンの推進に取り組んでまいりました結果、当期末の住宅ローンの残高は、前期末比85億円増加して5,526億円となりました。

貸出金



住宅ローン



## 業績の推移

コア業務純益は、経費は減少しましたが、有価証券利息配当金の減少などによる資金利益の減少などにより、前期比35億12百万円減少して101億99百万円となりました。

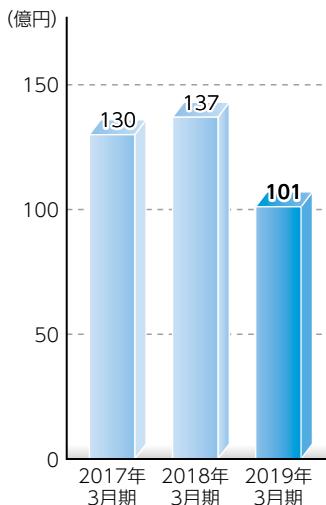
経常利益は、資金利益の減少や不良債権処理費用の増加などにより、前期比38億63百万円減少して91億53百万円となりました。

また、当期純利益は、前期比39億17百万円減少して50億48百万円となりました。

### \*コア業務純益とは

コア業務純益 = コア業務粗利益(資金利益 + 受取手数料など) - 経費  
銀行の本来業務からの利益を表す指標。

### コア業務純益

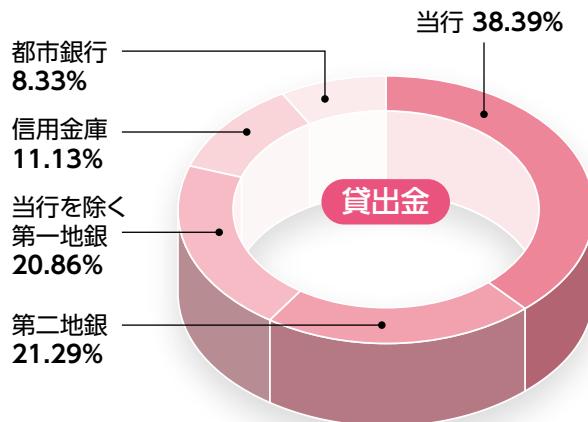
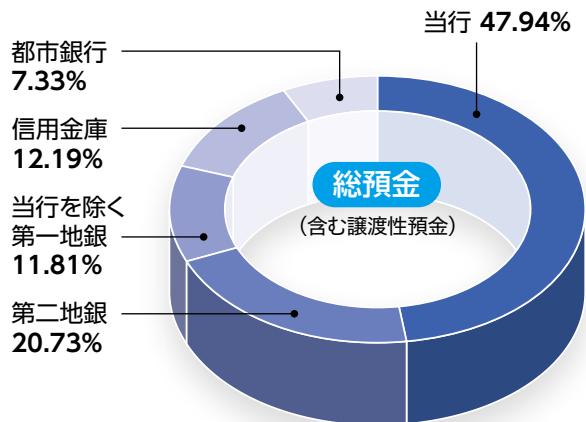


### 経常利益・当期純利益



## 香川県内シェア

(2019年3月31日現在)



# 経営の健全性について

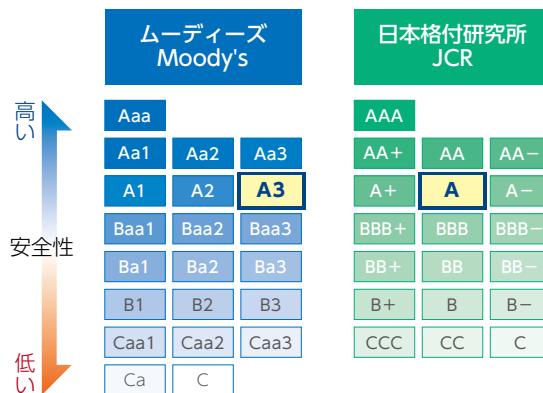
## 連結自己資本比率の推移

当期末の連結自己資本比率は、資本として算入していた劣後調達100億円の期限前償還をしたことにより、自己資本額が減少したことから、前期末比0.36ポイント低下して9.06%となりましたが、引き続き十分な水準を確保しております。



## 格付

当行は、ムーディーズ社 (Moody's) から長期預金格付について「A3」を、日本格付研究所 (JCR) から長期発行体格付について「A」の格付を取得し、国内外の格付機関から経営の健全性が評価されています。



(2019年3月31日現在)

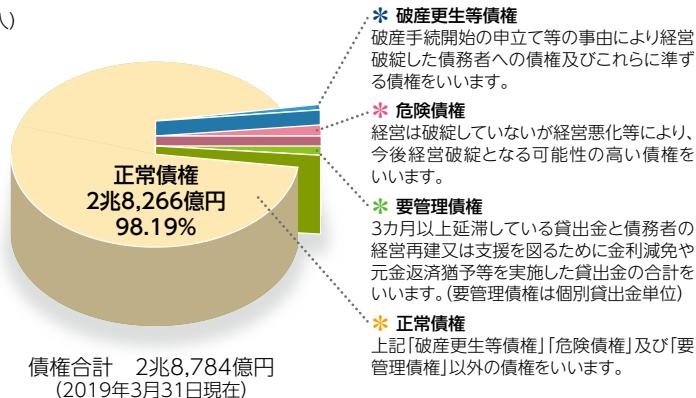
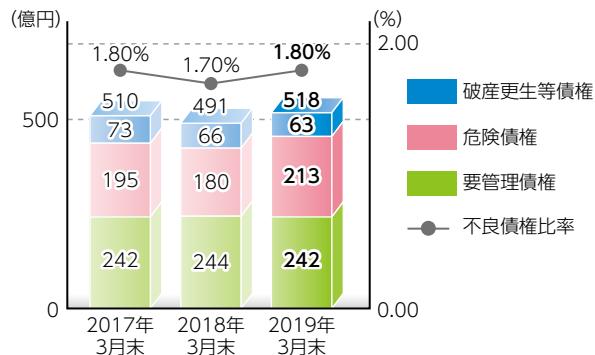
## 金融再生法開示債権の状況

当期末の金融再生法開示債権ベースの不良債権残高は、前期末比27億円増加して518億円となりました。また、債権合計に占める不良債権比率は、前期末比0.10ポイント上昇して1.80%となりました。

### \* 金融再生法開示債権とは

金融再生法に基づき、与信額(貸出金・外国為替・支払承諾見返・未収利息・仮払金(貸出金に準ずるもの)及び銀行保証付私募債)を対象とし債務者単位で区分しております。

### 金融再生法開示債権の推移と対応状況(金額単位未満:四捨五入)



# 株式情報

## 株式のご案内

- **事業年度**  
毎年4月1日から翌年3月31日までといたします。
- **定時株主総会**  
毎年6月に開催いたします。
- **配当金のお支払**  
期末配当金 3月31日現在の株主に対しお支払いいたします。  
中間配当金 中間配当を行う場合は、9月30日現在の株主に対しお支払いいたします。  
なお、配当金のお受け取りには、お近くの当行本支店の預金口座への振込みをご指定いただきますと便利です。
- **基準日**  
定時株主総会については、毎年3月31日といたします。  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
- **株式事務取扱場所**  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関  
  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
事務取扱場所 大阪証券代行業  
  
各種お問合せ (郵便物送付先) 〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行業  
  
(ご照会先) 0120-094-777(通話料無料)  
(ホームページアドレス) <https://www.tr.mufig.jp/daikou/>  
  
(株式に関する各種お手続き)  
届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更、単元未満株式の買取請求及び買増請求などについては、口座開設されている証券会社等(証券会社等に口座開設されていない株主さまは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社)へお届ください。
- **公告掲載方法**  
電子広告により行います。  
当行ホームページアドレス <https://www.114bank.co.jp/>  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

## 株式の状況

(2019年3月31日現在)

- **発行済株式の総数**：30,000千株
- **株主数**：13,154名
- **所有者別株式数**  

所有者別	割合	株数
個人・その他	20.51%	6,153千株
公共団体	0.00%	0千株
金融機関	34.90%	10,469千株
証券会社	0.87%	260千株
一般法人	32.32%	9,697千株
- **単元株式数**：100株  
2018年10月1日を効力発生日として1,000株から100株へ変更いたしました。
- **株式併合**：2018年10月1日を効力発生日として10株を1株に併合いたしました。

## 株主優待制度

株主の皆さまの日頃からのご支援に感謝するとともに、当行株式への投資魅力を高め、より多くの皆さまに当行株式を長期間保有していただくために、株主優待制度を導入しております。

- **対象となる株主さま**  
毎年3月末時点の当行株主名簿に記載された100株(1単元)以上所有される株主さま
- **優待制度の内容**  
地元香川県の特産品を中心に掲載した専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの優待品をお選びいただけます。なお、専用カタログは毎年6月に発送しております。

保有株式数	専用カタログ商品
100株以上500株未満	2,500円相当
500株以上	5,000円相当



# 財務データ | 当行単体

## 貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	2019年3月期 (2019年3月31日現在)	科 目	2019年3月期 (2019年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	829,827	預 金	3,960,208
買入金銭債権	38,993	譲渡性預金	96,731
商品有価証券	153	コールマネー	43,374
金銭の信託	4,748	債券貸借取引受入担保金	142,634
有価証券	1,048,456	借 用 金	257,381
貸 出 金	2,832,813	外 国 為 替	352
外 国 為 替	5,750	そ の 他 負 債	57,641
そ の 他 資 産	60,681	役員賞与引当金	25
有形固定資産	34,456	睡眠預金払戻損失引当金	445
無形固定資産	5,487	偶発損失引当金	90
前払年金費用	6,926	株式報酬引当金	63
支払承諾見返	23,684	繰延税金負債	14,021
貸倒引当金	△14,423	再評価に係る繰延税金負債	5,360
		支 払 承 諾	23,684
		<b>負債の部合計</b>	<b>4,602,014</b>
		<b>(純資産の部)</b>	
		資 本 金	37,322
		資 本 剰 余 金	24,920
		資 本 準 備 金	24,920
		利 益 剰 余 金	160,288
		利 益 準 備 金	12,402
		その他利益剰余金	147,886
		自 己 株 式	△2,041
		株主資本合計	220,490
		その他有価証券評価差額金	47,569
		繰延ヘッジ損益	△1,121
		土地再評価差額金	8,540
		評価・換算差額等合計	54,988
		新 株 予 約 権	61
		<b>純資産の部合計</b>	<b>275,540</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>4,877,554</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>4,877,554</b>

## 損益計算書

(単位:百万円)

科 目	2019年3月期 (2018年4月1日~2019年3月31日)
<b>経 常 収 益</b>	<b>68,829</b>
資 金 運 用 収 益	44,723
(うち貸出金利息)	31,072
(うち有価証券利息配当金)	13,096
信 託 報 酬	1
役 務 取 引 等 収 益	10,204
そ の 他 業 務 収 益	5,832
そ の 他 経 常 収 益	8,066
<b>経 常 費 用</b>	<b>59,676</b>
資 金 調 達 費 用	7,427
(うち預金利息)	2,501
役 務 取 引 等 費 用	4,089
そ の 他 業 務 費 用	5,674
営 業 経 費	35,763
そ の 他 経 常 費 用	6,721
<b>経 常 利 益</b>	<b>9,153</b>
特 別 利 益	91
特 別 損 失	1,597
税 引 前 当 期 純 利 益	7,647
法人税、住民税及び事業税	3,065
法 人 税 等 調 整 額	△466
法 人 税 等 合 計	2,598
<b>当 期 純 利 益</b>	<b>5,048</b>

### 剰余金の配当状況

2019年3月期の剰余金配当につきましては、  
2018年12月10日に中間配当1,330百万円(1株につき4円50銭)

2019年6月28日に期末配当1,330百万円(1株につき45円)

を実施しております。

※1.中間配当には、役員報酬BIP信託に対する配当金200万円が含まれております。また期末配当には、役員報酬BIP信託に対する配当金200万円が含まれております。

※2.1株当たり中間配当額には、創業140周年記念配当50銭が含まれております。また1株当たり期末配当額には、創業140周年記念配当5円が含まれております。

※3.2018年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。なお、1株当たり中間配当額につきましては、基準日が2018年9月30日であるため、2018年10月1日付の株式併合は加味していません。

# 財務データ | 連結

## 連結貸借対照表

		(単位:百万円)	
科 目	2019年3月期 (2019年3月31日現在)	科 目	2019年3月期 (2019年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	829,933	預 金	3,953,878
買入金銭債権	38,993	譲渡性預金	90,231
商品有価証券	153	コールマネー及び売渡手形	43,374
金銭の信託	4,748	債券貸借取引受入担保金	142,634
有価証券	1,046,803	借 用 金	269,620
貸 出 金	2,825,869	外 国 為 替	352
外国為替	5,750	その 他 負 債	65,293
リース債権及びリース投資資産	20,897	役員賞与引当金	25
その 他 資 産	64,861	退職給付に係る負債	824
有形固定資産	38,645	役員退職慰労引当金	48
無形固定資産	6,665	睡眠預金払戻損失引当金	445
退職給付に係る資産	4,526	偶発損失引当金	90
繰延税金資産	883	株式報酬引当金	63
支払承諾見返	23,684	繰延税金負債	13,120
貸倒引当金	△16,791	再評価に係る繰延税金負債	5,360
		支 払 承 諾	23,684
		<b>負債の部合計</b>	<b>4,609,048</b>
		<b>(純資産の部)</b>	
		資 本 金	37,322
		資本剰余金	30,486
		利益剰余金	167,615
		自 己 株 式	△2,041
		株 主 資 本 合 計	233,382
		その他有価証券評価差額金	47,822
		繰延ヘッジ損益	△1,121
		土地再評価差額金	8,540
		退職給付に係る調整累計額	△2,109
		その他の包括利益累計額合計	53,131
		新 株 予 約 権	61
		<b>純資産の部合計</b>	<b>286,576</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>4,895,624</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>4,895,624</b>

## 連結損益計算書

		(単位:百万円)	
科 目	2019年3月期 (2018年4月1日~2019年3月31日)	科 目	2019年3月期 (2018年4月1日~2019年3月31日)
<b>経 常 収 益</b>	<b>77,196</b>	<b>経 常 収 益</b>	<b>77,196</b>
資金運用収益	44,466	資金運用収益	44,466
(うち貸出金利息)	31,153	(うち貸出金利息)	31,153
(うち有価証券利息配当金)	12,757	(うち有価証券利息配当金)	12,757
信託報酬	1	信託報酬	1
役員取引等収益	11,504	役員取引等収益	11,504
その他業務収益	5,832	その他業務収益	5,832
その他経常収益	15,390	その他経常収益	15,390
<b>経 常 費 用</b>	<b>66,765</b>	<b>経 常 費 用</b>	<b>66,765</b>
資金調達費用	7,325	資金調達費用	7,325
(うち預金利息)	2,501	(うち預金利息)	2,501
役員取引等費用	3,328	役員取引等費用	3,328
その他業務費用	5,674	その他業務費用	5,674
営業経費	37,625	営業経費	37,625
その他経常費用	12,810	その他経常費用	12,810
<b>経 常 利 益</b>	<b>10,430</b>	<b>経 常 利 益</b>	<b>10,430</b>
特別利益	96	特別利益	96
特別損失	1,712	特別損失	1,712
税金等調整前当期純利益	8,814	税金等調整前当期純利益	8,814
法人税、住民税及び事業税	3,565	法人税、住民税及び事業税	3,565
法人税等調整額	△450	法人税等調整額	△450
法人税等合計	3,114	法人税等合計	3,114
当期純利益	5,700	当期純利益	5,700
非支配株主に帰属する当期純利益	115	非支配株主に帰属する当期純利益	115
親会社株主に帰属する当期純利益	5,584	親会社株主に帰属する当期純利益	5,584

当行は、下記9社を子会社等として連結計算書類を作成しております。

日本橋不動産株式会社  
 百十四ビジネスサービス株式会社  
 株式会社百十四人材センター  
 百十四財田代理店株式会社  
 株式会社百十四システムサービス  
 株式会社百十四ジェーシーピーカード  
 株式会社百十四ディーシーカード  
 百十四総合保証株式会社  
 百十四リース株式会社

Hyakujushi Preferred Capital Cayman Limited  
 は、2018年12月13日に清算終了しており、連結の  
 範囲から除外しております。

なお、清算終了時までの損益計算書につきましては  
 連結しております。

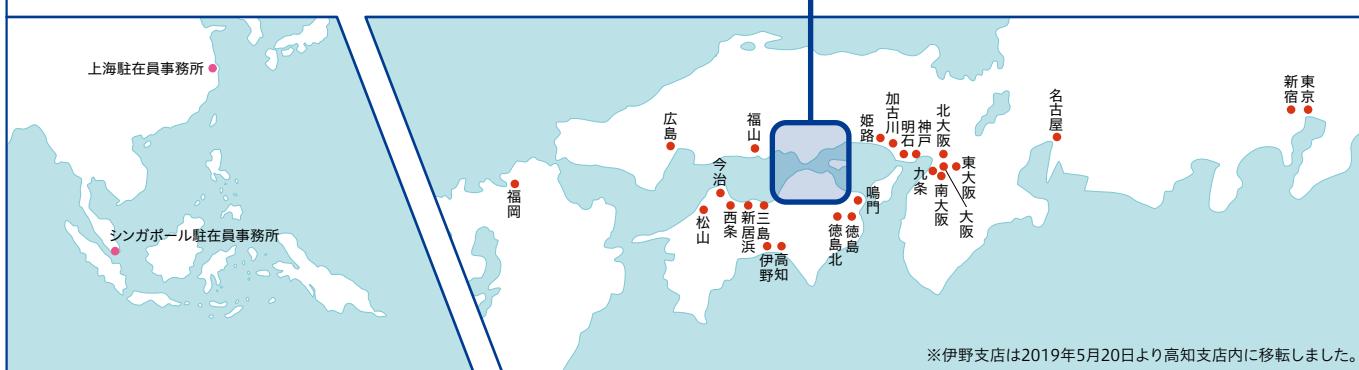
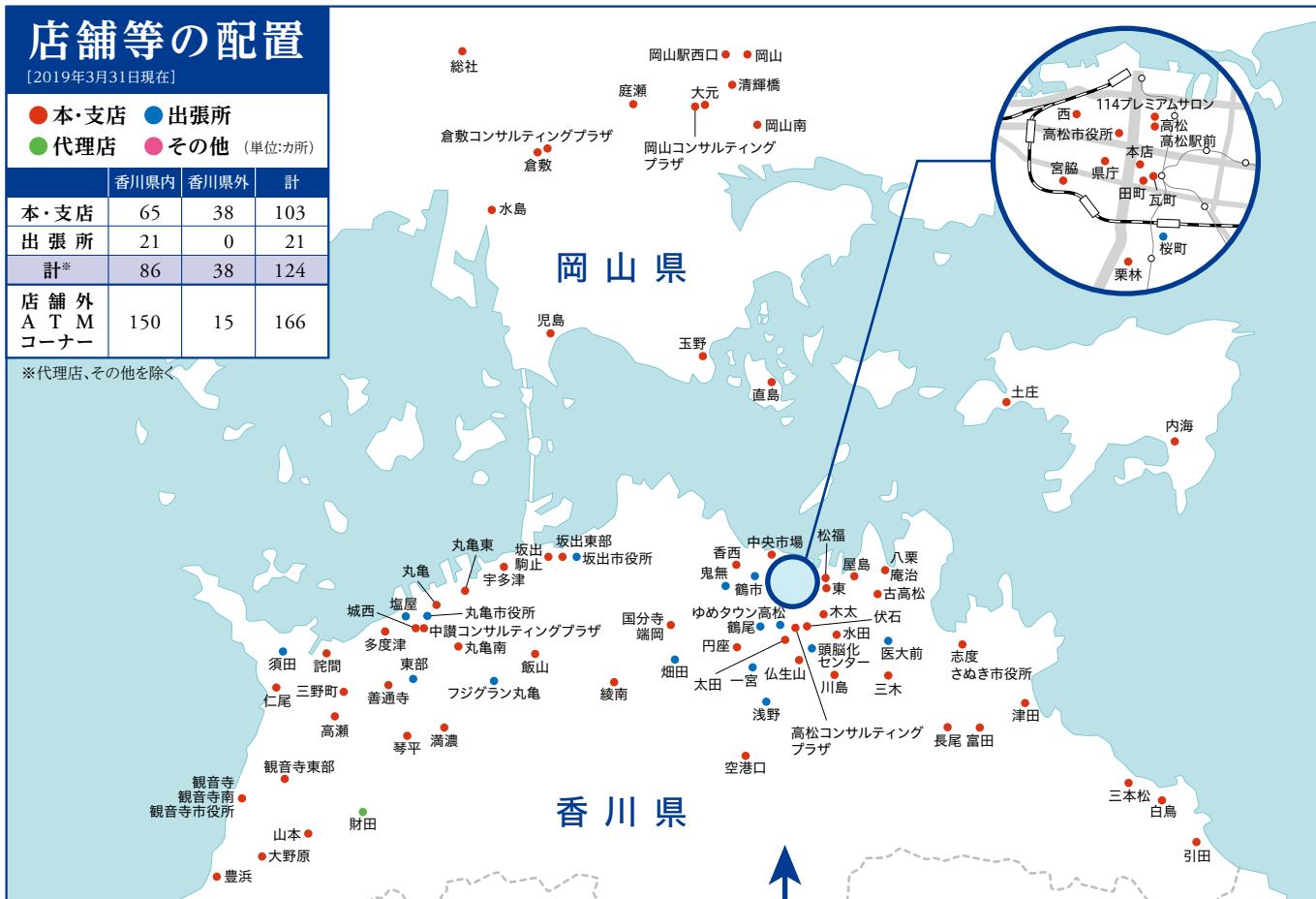
# 店舗等の配置

【2019年3月31日現在】

●本・支店 ●出張所  
●代理店 ●その他 (単位:カ所)

	香川県内	香川県外	計
本・支店	65	38	103
出張所	21	0	21
計*	86	38	124
店舗外 A T M コーナー	150	15	166

\*代理店、その他を除く



※伊野支店は2019年5月20日より高知支店内に移転しました。